

盛岡まちかど森林教室 開催

平成 26 年 7 月 17 日（木）、当署会議室において、第 1 回「盛岡まちかど森林教室」を開催しました。

この盛岡まちかど森林教室は、当署の職員が地域の方々と共に森林・林業に関する知識を深め、また、盛岡森林管理署をより知っていただくことを目的に、職員や外部の有識者を講師として行う勉強会です。（年 3 ～ 4 回の予定）



開催にあたっては、若手職員が中心となり、ベテラン職員のアドバイスも受けながら準備を進めました。

当日は、新規採用の女子職員が受付を務め、また、入庁 3 年目の森林事務所勤務の職員が司会を務めました。

幕開けは、清水署長が「盛岡森林管理署の概要」と題したプレゼンテーションを行い、「森林管理署」の名称は必ずしも定着しているとはいえない、地域の方々に森林管理署の業務を知っていただくと共に平成 25 年度からの一般会計化の趣旨も踏まえて職員みんなで国有林の管理経営と民有林との連携を進めていきたいとの抱負を述べました。



盛岡市森林組合青年部高橋さんによるプレゼンの模様



記念すべき第 1 回の外部講師には、盛岡市森林組合青年部の高橋久祐さんをお招きしました。盛岡市森林組合青年部は、昨年 2 月に東京都内で行われた「全国林業グループコンクール」（主催：全国林業研究グループ連絡協議会）において、リース作りを通じて地域住民の森づくりの参加を促し、人と森とのつながりを深めていく「絆の輪プロジェクト」に参画した内容について発表され、見事、林野庁長官賞を受賞されました。今回は、その活動内容について当時に発表者である高橋さんからお話いただきました。

山に捨てられているスギの葉や枝を活用した、リース作りでの街の活性化や、経木の「お花」でエレガントな飾りやコサージュが作られているという内容に、聴講者の関心も高く、質疑応答では予定時間をオーバーする盛り上がりで充実した森林教室となりました。

講師を務めていただいた高橋さんも、毎日、職場（外山森林公園）へ向かう際、当署の前を車で通るそうですが、当署の建物に入るのは今回が初めてとのことでした。

外部から数名の方に聴講していただきましたが、さらに多くの方にご参加いただけるよう取組んでいきます。